

「派遣社員・業務請負業スタッフの募集時時給・求人動向レポート」

平成 23 年 7 月 7 日発表

株式会社アイデム 人と仕事研究所

～人材派遣業、業務請負業ともに求人広告枠が増加。製造関連職種の大幅な増加が寄与～

人材派遣業、業務請負業共に対前年比における求人広告枠数が増加し、特に関西で顕著な伸びがみられた。しかし、製造関連職種の賃金データ数が大幅な増加となる一方、専門、事務系職種の賃金データ数は大幅に減少。特に人材派遣業においては、求人広告枠数の回復は見られたものの、その回復は製造関連職種の増加に大きく依存しており、業界全体の回復傾向が力強いものと言えるまでは至っていない。

▼求人動向**求人広告枠数****人材派遣業、業務請負業ともに増加 関西で顕著な伸び**

【人材派遣業】 関東 2.5%増 関西 15.6%増

【業務請負業】 関東 14.8%増 関西 38.0%増

賃金データ数**求人広告枠数は増加したものの、****人材派遣業においては求人広告枠から取得できるデータは減少**

【人材派遣業】 関東 15.1%減 関西 4.0%減

【業務請負業】 関東 7.9%増 関西 56.3%増

人材派遣業、業務請負業とも、技能工・生産作業者が大幅に増加

【人材派遣業 技能工・生産作業者】 関東 150.5%増 関西 138.4%増

【業務請負業 技能工・生産作業者】 関東 62.0%増 関西 155.1%増

▼募集時平均時給**職 種 計****人材派遣業は低下、業務請負業は上昇**

【人材派遣業】 関東は 80 円減の 1,168 円 関西は 88 円減の 1,081 円

【業務請負業】 関東は 3 円増の 968 円 関西は 11 円増の 953 円

職 種 別**人材派遣業、業務請負業とも、技能工・生産作業者が上昇**

【人材派遣業 技能工・生産作業者】 関東 1,062 円(34 円増) 関西 1,005 円(10 円増)

【業務請負業 技能工・生産作業者】 関東 1,006 円(26 円増) 関西 973 円(23 円増)

株式会社アイデム

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-4-10 アイデム本社ビル

＜お問い合わせ＞ 広報室／望月・佐相

電話 03-5269-8780

kouhousitu@aidem.co.jp

＜ 調査担当 ＞ 人と仕事研究所／岸川

★「派遣社員・業務請負業スタッフの募集時時給・求人動向レポート」は

人事・労務お役立ちサイト「Work-i um (ワーク・イウム)」で公開中

1、求人動向

求人広告枠数（平成 22 年計）

人材派遣業は、関東 2.5%増、関西 15.6%増

業務請負業は、関東 14.8%増、関西 38.0%増

■人材派遣

平成 22 年(1 月～12 月/以下同)の人材派遣業における求人広告枠数は、関東(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、群馬県、栃木県、静岡県計。以下、関東)で、9,328 枠となり、平成 21 年に比べ 2.5%増となった。関西(大阪府、京都府、滋賀県、奈良県、和歌山県、兵庫県計。以下、関西)では、11,221 枠となり、平成 21 年に比べ 15.6%の増加となった(表 1)。

■業務請負業

平成 22 年の業務請負業における求人広告枠数は、関東で、3,175 枠となり、平成 21 年に比べ 14.8%増となった。関西では、3,933 枠となり、平成 21 年に比べ 38.0%の増加となった(表 1)。

表 1 人材派遣および業務請負業における求人広告掲載状況

	勤務地	枠数	対前年 増減数	対前年 増減率(%)
人材派遣業	関東計	9,328	229	2.5
	関西計	11,221	1,516	15.6
業務請負業	関東計	3,175	409	14.8
	関西計	3,933	1,082	38.0

※求人募集枠数: 当社新聞折り込み求人広告「しごと情報アイデム」の各月第 1 週及び第 3 週発行紙面のうち、人材派遣業及び業務請負業から出稿された求人広告枠数をカウントした。

※関東: 東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、群馬県、栃木県、静岡県の合計値

※関西: 大阪府、京都府、滋賀県、奈良県、和歌山県、兵庫県の合計値

対前年同月比の推移

人材派遣業、業務請負業ともに平成22年4、5月頃から回復傾向 特に、関西は回復傾向に力強さ

■人材派遣業

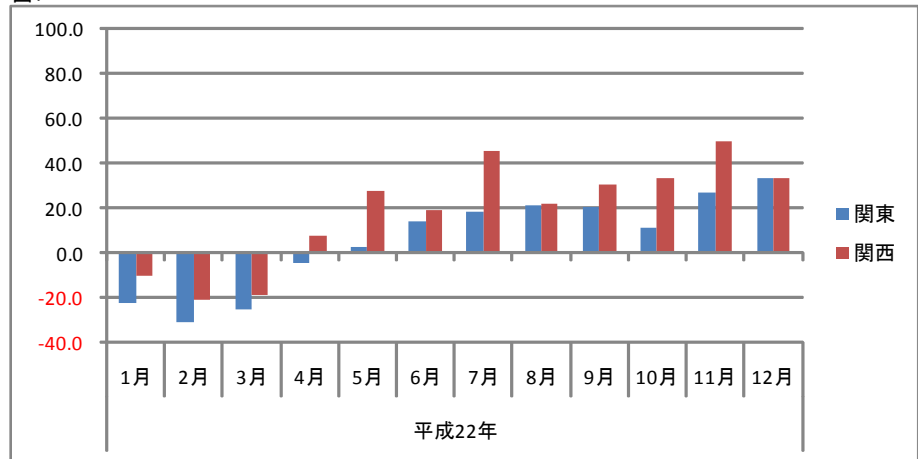
月別にみると、関西では、1月～3月まで対前年同月比においてマイナスが続き、4月からはプラスに転じた。関東では1ヶ月遅れて、5月からプラスに転じた。両地方ともその後は前年比をプラスで推移している(表2、図1)。

労働者派遣業 求人広告枠数 対前年同月比(%)

表2

	平成22年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
関東	-22.6	-31.0	-25.4	-4.4	2.8	14.2	18.8	21.0	20.8	11.5	27.3	33.4
関西	-9.8	-20.5	-18.6	7.5	28.1	19.2	45.7	22.3	30.6	33.7	49.9	33.6

図1



■業務請負業

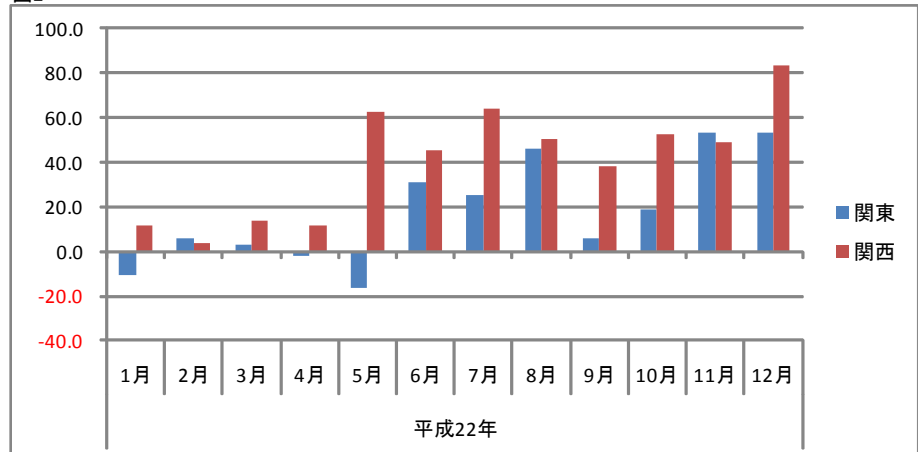
月別にみると、関西では、1月～4月まで小幅な増加、5月からは大きく増加。関東では5月まで増減を繰り返し不安定な推移。両地方とも6月以降は前年比をプラスで推移している(表3、図2)。

業務請負業 求人広告枠数 対前年同月比(%)

表3

	平成22年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
関東	-11.0	5.7	2.9	-2.2	-16.4	31.0	25.0	46.0	5.5	18.8	53.5	53.4
関西	11.4	3.5	14.1	11.4	62.6	45.0	63.8	50.2	37.9	52.8	48.7	83.6

図2



賃金(時給)データ数 [職種計]

人材派遣業は関東で 15.1%、関西で 4.0%の減少

業務請負業は関東で 7.9%、関西で 56.3%の増加

■人材派遣業

『しごと情報アイデム』から取得した、平成 22 年の人材派遣業における賃金(時給)データ数(求人広告一枠から、職種や勤務地ごとに抽出したデータのうち、時給で表記のあったもの。具体的な取得方法については 5p 参照)は、関東・関西両地方ともに減少となった。その減少率は、関東が 15.1%減、関西が 4.0%減となっており、関東の減少幅が大きくなっている(表 4、図 3)。

■業務請負業

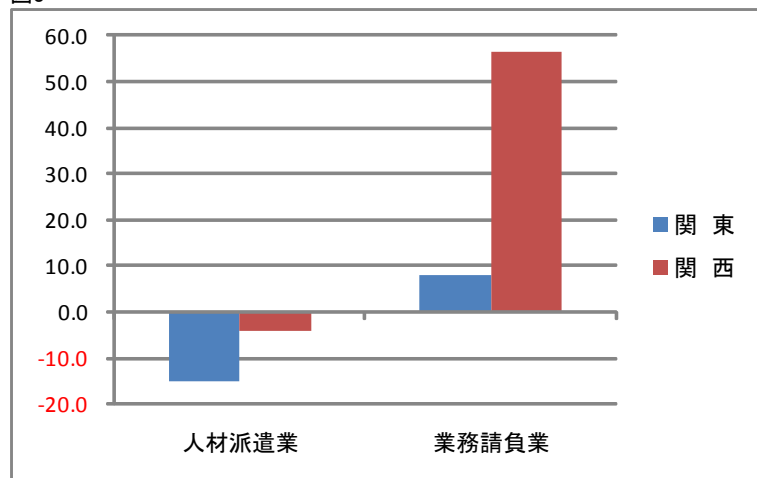
平成 22 年の業務請負業の賃金データ数は、関東・関西両地方ともに増加となった。その増加幅は、関東が 7.9%、関西が 56.3%。関西の増加が際立っている(表 4、図 3)。

賃金データ数 対前年増減率 (%)

表4

	人材派遣業		業務請負業	
	賃金データ数	対前年増減率	賃金データ数	対前年増減率
関東	22,119	-15.1	4,973	7.9
関西	25,189	-4.0	7,150	56.3

図3



賃金(時給)データ数 [職種別]

人材派遣業、業務請負業ともに、生産、労務作業者が大幅に増加

事務、販売、サービス、専門職が大幅な減少

■人材派遣業

▼関東

運輸・通信従事者 52.7%増、技能工・生産作業者 150.5%増、労務作業者 59.5%増。製造、労務関連職種が大幅な増加となった。とりわけ技能工・生産作業者が大きく増加している。一方、減少の激しい職種もある。具体的には、専門的・技術的職業従事者 46.8%減、事務員 27.3%減、販売員 39.7%減、サービス職業従事者 39.5%減など

(表 5)。

▼関西

運輸・通信従事者 86.1%増、技能工・生産作業 138.4%増、労務作業 24.1%増。関東と同じく、製造、労務関連職種の増加が大きく、特に技能工・生産作業の増加幅が大きくなっている。一方、減少の激しい職種もある。具体的には、専門的・技術的職業従事者 50.8%減、事務員 10.7%減、販売員 45.8%減、サービス職業従事者 25.1%減など(表 5)。

表5 人材派遣業 職種別 賃金データ数の構成比と対前年増減率

(%)

	関東		関西	
	構成比※2	増減率※3	構成比※2	増減率※3
職業計 ※1	100.0	▲ 15.1	100.0	▲ 4.0
A 専門的・技術的職業従事者 計	30.8	▲ 46.8	22.9	▲ 50.8
1 薬剤師	4.7	▲ 30.8	7.3	▲ 43.5
2 介護ヘルパー	13.4	▲ 74.5	15.0	▲ 71.8
3 看護助手	2.0	▲ 70.3	2.6	▲ 56.5
4 介護職業従事者(無資格)	6.6	▲ 50.2	10.4	▲ 58.8
5 保育士	19.9	▲ 6.2	21.7	2.0
6 各種専門的職業従事者	7.5	18.8	8.3	17.0
B 事務員 計	19.5	▲ 27.3	19.8	▲ 10.7
7 一般事務	23.3	▲ 28.1	31.2	▲ 2.8
8 医療事務	5.7	▲ 11.9	8.5	▲ 49.0
9 受付・案内事務	12.0	▲ 25.5	6.6	▲ 11.4
10 会計事務	5.0	▲ 72.7	2.3	▲ 4.2
11 経理事務	3.7	▲ 26.8	5.5	▲ 23.5
12 営業・販売事務	14.0	▲ 23.9	14.9	4.6
13 OA機器操作	8.3	▲ 5.3	10.9	37.8
14 電話受信	8.3	▲ 4.8	8.6	▲ 21.9
C 販売員 計	6.0	▲ 39.7	3.5	▲ 45.8
15 販売店員	38.1	▲ 47.7	40.9	▲ 48.4
16 営業・外交員	16.2	▲ 45.6	13.1	▲ 63.2
17 イベントスタッフ	10.4	245.0	11.8	52.2
D サービス職業従事者 計	2.1	▲ 39.5	2.4	▲ 25.1
E 運輸・通信従事者 計	3.0	52.7	2.5	86.1
18 フォークリフト運転者	87.9	82.1	87.5	105.9
F 技能工・生産作業 計	28.9	150.5	39.0	138.4
19 医薬品・化粧品製造工	2.1	69.6	1.5	64.8
20 金属加工作業者	10.8	252.0	11.4	318.7
21 金属溶接・溶断作業	2.5	324.3	1.2	130.0
22 機械器具製造修理作業	21.8	163.4	32.0	225.2
23 自動車組立工	7.2	239.7	4.3	316.7
24 食料品・原料製造作業	13.0	72.7	7.1	7.4
25 ゴム・プラ製品製造作業	3.1	122.7	4.8	123.8
26 その他生産作業	23.1	183.1	23.5	127.5
27 包装工	5.8	57.3	4.7	26.5
28 機械運転作業	4.7	379.0	4.5	332.7
G 労務作業 計	9.6	59.5	9.8	24.1
29 陸上荷役・運搬作業	5.8	82.1	4.4	8.0
30 物流・倉庫内作業	59.8	95.4	56.7	41.1
31 軽作業	25.1	20.2	27.8	4.4

賃金データ数が100件を超えるものを表記。

※1: 職業計は上記集計表に表記していない職業も含めた値を示す。

※2: 構成比(%)は職業分類がA～Gの分類においては職業計に占める割合を、

職業分類が1～31の分類においてはA～Gの各職業分類を100として算出した割合を示す。

※3: 増減率(%)は前年の賃金データ数に対する増減率を示す。

■業務請負業

▼関東

事務員 27.9%減、販売員 29.2%減、サービス職業従事者 16.0%減。運輸・通信従事者 28.7%増、技能工・生産作業 62.0%増、労務作業 22.9%増。製造、労務関連職種の増加が目立つ(表 6)。

▼関西

事務員 6.4%減、販売員 28.9%減、サービス職業従事者 3.2%減。運輸・通信従事者 61.6%増、技能工・生産作業 155.1%増、労務作業 33.2%増。関東と同様に製造、労務関連職種の増加が大きい(表 6)。

表6 業務請負業 職種別 賃金データ数の構成比と対前年増減率 (%)

	関東		関西	
	構成比※2	増減率※3	構成比※2	増減率※3
職業計 ※1	100.0	7.9	100.0	56.3
B 事務員 計	20.1	▲ 27.9	13.5	▲ 6.4
1 一般事務	25.8	20.0	23.6	3.2
C 販売員 計	6.8	▲ 29.2	2.3	▲ 28.9
D サービス職業従事者 計	5.2	▲ 16.0	3.3	▲ 3.2
E 運輸・通信従事者	7.5	28.7	4.9	61.6
2 フォークリフト運転者	82.5	44.8	71.6	52.4
F 技能工・生産作業 計	31.6	62.0	47.9	155.1
3 金属加工作業者	7.4	50.6	7.4	196.5
4 機械器具製造修理事業	24.6	127.6	28.5	148.1
5 食料品・原料製造業者	12.0	0.5	7.3	▲ 3.5
6 その他生産業者	23.4	142.1	29.5	265.9
7 包装工	9.9	32.5	7.6	101.6
G 労務作業 計	28.4	22.9	27.9	33.2
8 物流・倉庫内作業	46.0	14.7	45.2	40.1
9 建物清掃員	12.1	83.9	13.6	▲ 13.7
10 軽作業	29.5	105.9	22.8	53.2

賃金データ数が100件を超え、かつ、関東・関西の共通職種を表記。

※1: 職業計は上記集計表に表記していない職業も含めた平均値を示す。

※2: 構成比(%)は職業分類がB～Gの分類において職業計に占める割合を、

職業分類が1～10の分類においてはB～Gの各職業分類を100として算出した割合を示す。

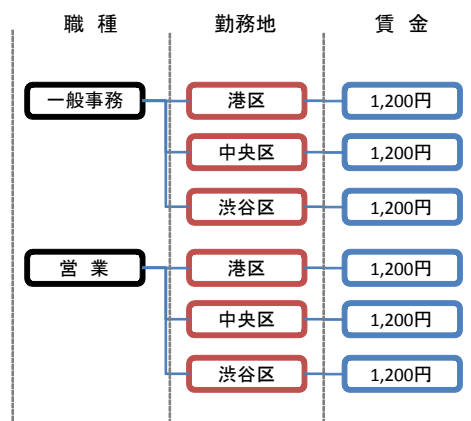
※3: 増減率(%)は前年の賃金データ数に対する増減率を示す。

【賃金データの取得方法】

求人広告枠一枠から複数の賃金データを取得

〇〇派遣サービス
【派】 一般事務 営業
仕事 ▶ ①一般事務 ②営業
勤務地 ▶ 東京都 港区 中央区 渋谷区
時間 ▶ 9:00～17:00
給与 ▶ 時給1,200円
...

2職種 × 3勤務地 = 6賃金データ



賃金データ数 [総数]

求人広告一枠あたりの賃金データは減少傾向

賃金データの求人広告一枠あたりの取得数について平成20年、21年、22年の推移をみると、関東においては、人材派遣業、業務請負業ともに一枠あたりの賃金データ数は2年連続で減少している。関西においては業務請負業が前年よりも増加したものの、人材派遣業では前年よりも減少している。

また、平成22年と2年前の平成20年の一枠あたりの賃金データ数を比較すると、関東では、人材派遣業がマイナス0.8、業務請負業がマイナス1.0。関西では、人材派遣業がマイナス0.3、業務請負業がマイナス0.6となっている。関西に比べ、関東の方がより減少傾向が強い状況にある(表7、図4.5)。

求人広告枠 一枠における賃金データ取得数
表7

		人材派遣業	業務請負業
関東	平成20年	3.4	3.1
	平成21年	3.1	2.3
	平成22年	2.6	2.1
関西	平成20年	2.8	2.9
	平成21年	2.9	2.1
	平成22年	2.5	2.3

図4 関東

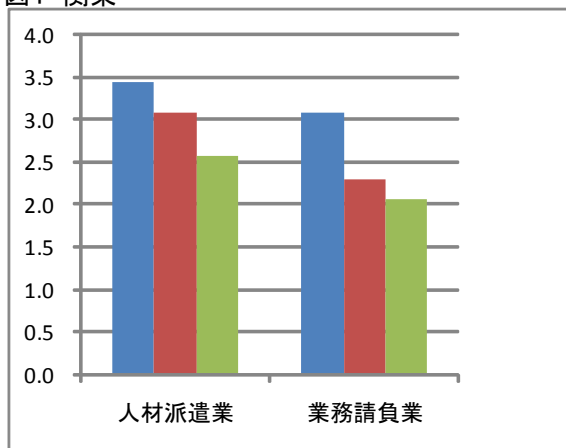
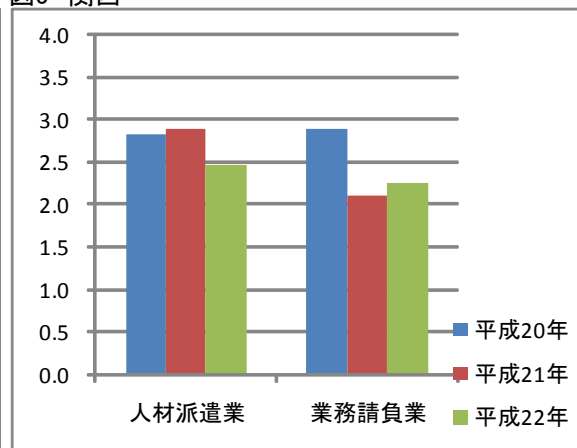


図5 関西



2、募集時平均時給の動向

募集時平均時給の動向

人材派遣業 関東は 80 円減の 1,168 円 関西は 88 円減の 1,081 円

業務請負業 関東は 3 円増の 968 円 関西は 11 円増の 953 円

■人材派遣業（職種別）

▼関東

平成 22 年の募集時平均時給額を職種別にみると、前年に比べ平均時給額が減少した職種は専門的・技術的職業従事者が 15 円減の 1,391 円、事務員が 29 円減の 1,091 円、労務作業者が 246 円減の 944 円であった。一方、平均時給額が増加した職種は、販売員が 14 円増の 1,197 円、サービス職業従事者が 3 円増の 1,055 円、運輸・通信従事者が 25 円増の 1,111 円、技能工・生産作業者が 34 円増の 1,062 円であった（表 8）。

▼関西

前年に比べ平均時給額が減少した職種は、専門的・技術的職業従事者が 33 円減の 1,282 円、事務員が 28 円減の 1,074 円、販売員が 54 円減の 1,121 円、サービス職業従事者が 42 円減の 986 円、労務作業者が 3 円減の 934 円であった。一方、平均時給額が増加した職種は、運輸・通信従事者が 12 円増の 1,080 円、技能工・生産作業者が 10 円増の 1,005 円であった（表 8）。

■業務請負業（職種別）

▼関東

前年に比べ平均時給額が減少した職種は、販売員が 15 円減の 972 円、サービス職業従事者が 2 円減の 922 円、運輸・通信従事者が 10 円減の 1,049 円、労務作業者が 15 円減の 910 円であった。一方、平均時給額が上昇した職種は、事務員が 4 円増の 973 円、技能工・生産作業者が 26 円増の 1,006 円であった（表 9）。

▼関西

前年に比べ平均時給額が減少した職種は、サービス職業従事者が 59 円減の 924 円、運輸・通信従事者が 53 円減の 1,037 円であった。一方、平均時給額が増加した職種は、販売員が 17 円増の 1,010 円、技能工・生産作業者が 23 円増の 973 円、労務作業者が 14 円増の 895 円であった（表 9）。

表8 人材派遣業 職種別募集時平均時給

	関 東			関 西		
	平均時給(円)		データ数(%)	平均時給(円)		データ数(%)
	平均値	前年差	構成比※2	平均値	前年差	構成比※2
職業計 ※1	1,168	▲ 80	100.0	1,081	▲ 88	100.0
A 専門的・技術的職業従事者 計	1,391	▲ 15	30.8	1,282	▲ 33	22.9
1 薬剤師	2,264	▲ 147	4.7	2,241	▲ 50	7.3
2 介護ヘルパー	1,155	▲ 35	13.4	1,033	6	15.0
3 看護助手	1,058	▲ 58	2.0	1,016	17	2.6
4 介護職業従事者(無資格)	1,081	9	6.6	1,005	7	10.4
5 保育士	1,035	▲ 11	19.9	1,012	24	21.7
6 各種専門的職業従事者	1,331	▲ 13	7.5	1,253	▲ 13	8.3
B 事務員 計	1,091	▲ 29	19.5	1,074	▲ 28	19.8
7 一般事務	1,067	▲ 57	23.3	1,040	▲ 48	31.2
8 医療事務	1,041	▲ 78	5.7	971	3	8.5
9 受付・案内事務	942	▲ 57	12.0	1,008	▲ 22	6.6
10 会計事務	1,089	48	5.0	984	▲ 168	2.3
11 経理事務	1,202	▲ 117	3.7	1,162	▲ 64	5.5
12 営業・販売事務	1,192	▲ 47	14.0	1,184	▲ 28	14.9
13 OA機器操作	1,073	▲ 40	8.3	1,074	31	10.9
14 電話受信	1,132	5	8.3	1,068	▲ 88	8.6
C 販売員 計	1,197	14	6.0	1,121	▲ 54	3.5
15 販売店員	1,165	44	38.1	1,118	▲ 23	40.9
16 営業・外交員	1,284	15	16.2	1,214	▲ 115	13.1
17 イベントスタッフ	1,212	10	10.4	1,074	▲ 10	11.8
D サービス職業従事者 計	1,055	3	2.1	986	▲ 42	2.4
E 運輸・通信従事者 計	1,111	25	3.0	1,080	12	2.5
18 フォークリフト運転者	1,111	▲ 3	87.9	1,082	▲ 6	87.5
F 技能工・生産作業 計	1,062	34	28.9	1,005	10	39.0
19 医薬品・化粧品製造工	1,046	▲ 20	2.1	1,010	▲ 7	1.5
20 金属加工作業者	1,093	7	10.8	1,021	▲ 12	11.4
21 金属溶接・溶断作業者	1,344	213	2.5	1,267	64	1.2
22 機械器具製造修理作業者	1,073	23	21.8	1,013	5	32.0
23 自動車組立工	1,122	25	7.2	1,056	49	4.3
24 食料品・原料製造作業者	964	▲ 25	13.0	954	▲ 15	7.1
25 ゴム・プラ製品製造作業者	994	10	3.1	995	21	4.8
26 その他生産作業者	1,058	44	23.1	984	▲ 3	23.5
27 包装工	957	8	5.8	944	3	4.7
28 機械運転作業者	1,097	▲ 39	4.7	1,057	▲ 10	4.5
G 労務作業 計	944	▲ 246	9.6	934	▲ 3	9.8
29 陸上荷役・運搬作業者	1,044	11	5.8	988	▲ 36	4.4
30 物流・倉庫内作業者	925	▲ 36	59.8	925	5	56.7
31 軽作業	964	▲ 54	25.1	946	▲ 2	27.8

表9 業務請負業 募集時平均時給

	関 東			関 西		
	平均時給(円)		データ数(%)	平均時給(円)		データ数(%)
	平均値	前年差	構成比※2	平均値	前年差	構成比※2
職業計 ※1	968	3	100.0	953	11	100.0
B 事務員 計	973	4	20.1	966	0	13.5
1 一般事務	949	14	25.8	946	29	23.6
C 販売員 計	972	▲ 15	6.8	1,010	17	2.3
D サービス職業従事者 計	922	▲ 2	5.2	924	▲ 59	3.3
E 運輸・通信従事者	1,049	▲ 10	7.5	1,037	▲ 53	4.9
2 フォークリフト運転者	1,073	▲ 16	82.5	1,071	▲ 51	71.6
F 技能工・生産作業 計	1,006	26	31.6	973	23	47.9
3 金属加工作業者	1,047	35	7.4	1,021	47	7.4
4 機械器具製造修理作業者	1,028	15	24.6	989	28	28.5
5 食料品・原料製造作業者	949	6	12.0	904	▲ 15	7.3
6 その他生産作業者	1,005	50	23.4	949	11	29.5
7 包装工	925	13	9.9	903	▲ 3	7.6
G 労務作業 計	910	▲ 15	28.4	895	14	27.9
8 物流・倉庫内作業者	885	▲ 26	46.0	906	8	45.2
9 建物清掃員	868	▲ 89	12.1	816	10	13.6
10 軽作業	954	11	29.5	891	▲ 14	22.8

賃金データ数が100件を超えるものを表記。

※1:職業計は上記集計表に表記していない職業も含めた平均値を示す。

※2:構成比(%)は職業分類がB～Gの分類において職業計に占める割合を、

職業分類が1～10の分類においてはB～Gの各職業分類を100として算出した割合を示す。

(分析)人材派遣業、業務請負業の平均時給額の増減について

人材派遣業は、製造・労務職と専門職の賃金データ構成比の変化が影響

業務請負業は製造・労務職の平均時給額の増減が影響

人材派遣業において構成比の高い専門的・技術的職業従事者、事務員、製造・労務職(技能工・生産作業者と労務作業者の計)の平均時給額の推移をみると、関東・関西とも特定の職種における平均時給額の変化と人材派遣業職種計の平均時給の増減に、連動した動きは見られない(表 10,11、図 6,7)。

表10 関東 人材派遣業 職種別 募集時平均時給の推移

	H16年		H17年		H18年		H19年		H20年		H21年		H22年	
	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
職種計	1,287	1,256	1,243	1,225	1,219	1,200	1,222	1,187	1,235	1,248	1,273	1,207	1,185	1,152
専門・技術	1,468	1,431	1,367	1,409	1,388	1,399	1,389	1,401	1,439	1,411	1,405	1,409	1,392	1,390
事務員	1,280	1,274	1,254	1,219	1,218	1,243	1,253	1,242	1,246	1,244	1,124	1,113	1,080	1,103
製造・労務	1,111	1,071	1,091	1,059	1,074	1,036	1,074	1,028	1,079	1,069	1,018	1,012	1,039	1,029

図6

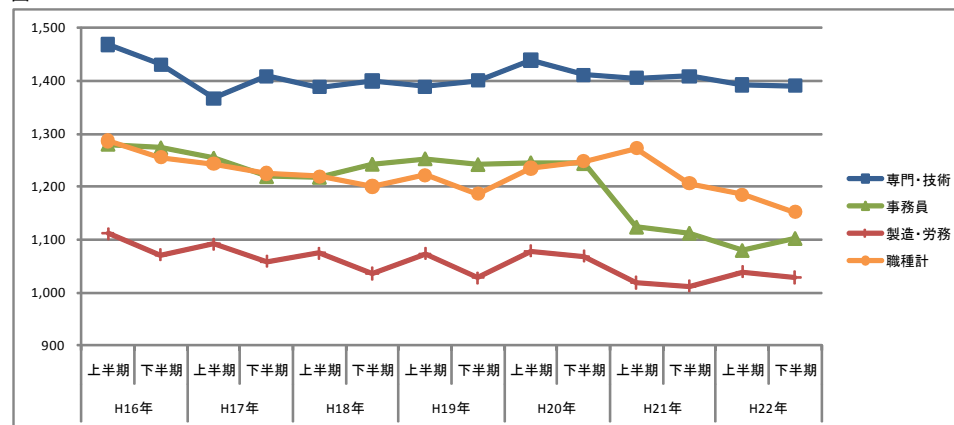
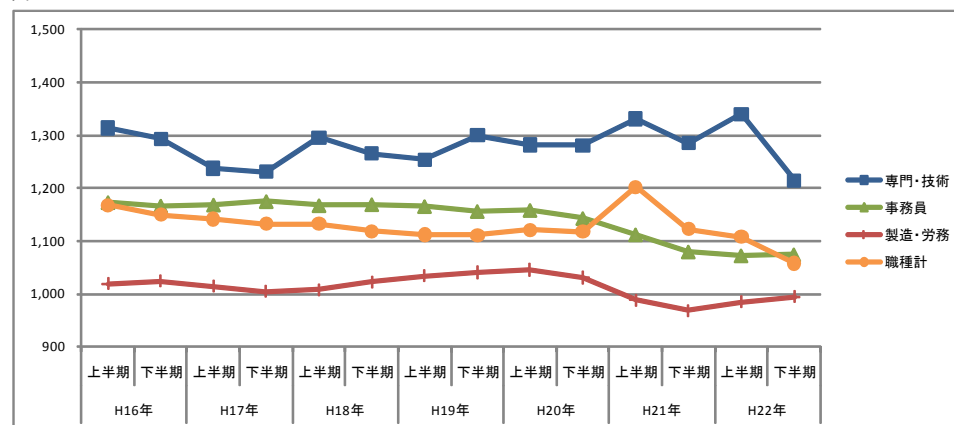


表11 関西 人材派遣業 職種別 募集時平均時給の推移

	H16年		H17年		H18年		H19年		H20年		H21年		H22年	
	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
職種計	1,168	1,150	1,142	1,133	1,133	1,119	1,112	1,111	1,121	1,118	1,202	1,123	1,108	1,058
専門・技術	1,314	1,293	1,237	1,231	1,296	1,265	1,254	1,299	1,282	1,280	1,331	1,285	1,339	1,215
事務員	1,174	1,167	1,169	1,175	1,168	1,170	1,166	1,157	1,159	1,143	1,113	1,080	1,073	1,075
製造・労務	1,019	1,025	1,014	1,005	1,008	1,023	1,034	1,041	1,046	1,031	988	968	985	995

図7



さらに、この 3 職種の賃金データの構成比と人材派遣業職種計の平均時給額の推移をみると、こちらは連動している様子が見て取れる。すなわち専門的・技術的職業従事者の構成比が上がり、製造・労務職の構成比が下がると平均時給額は増加し、専門的・技術的職業従事者の構成比が下がって、製造・労務職の構成比が上がると、平均時給額は減少する(図 8,9)。

人材派遣業 職種構成比の推移 と平均時給(職種計)の推移

図8 関東

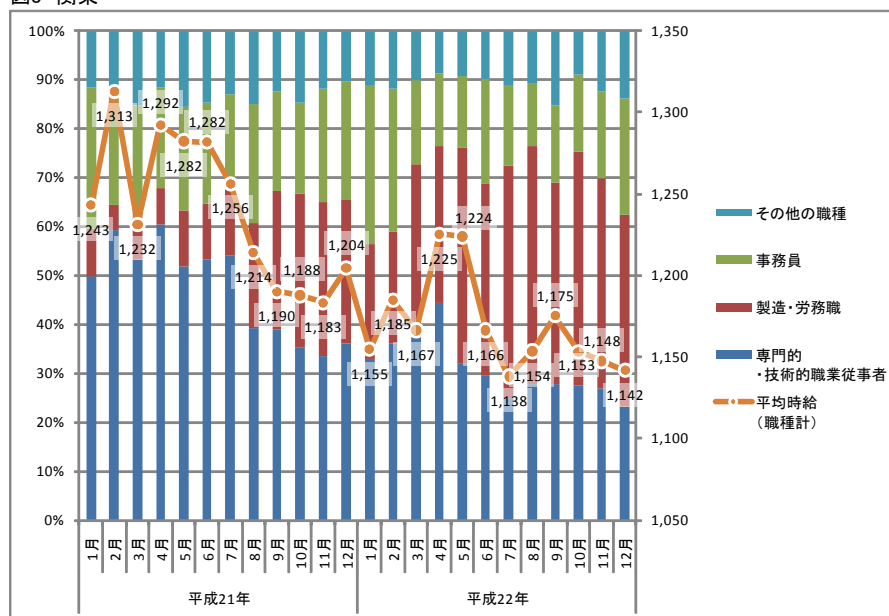
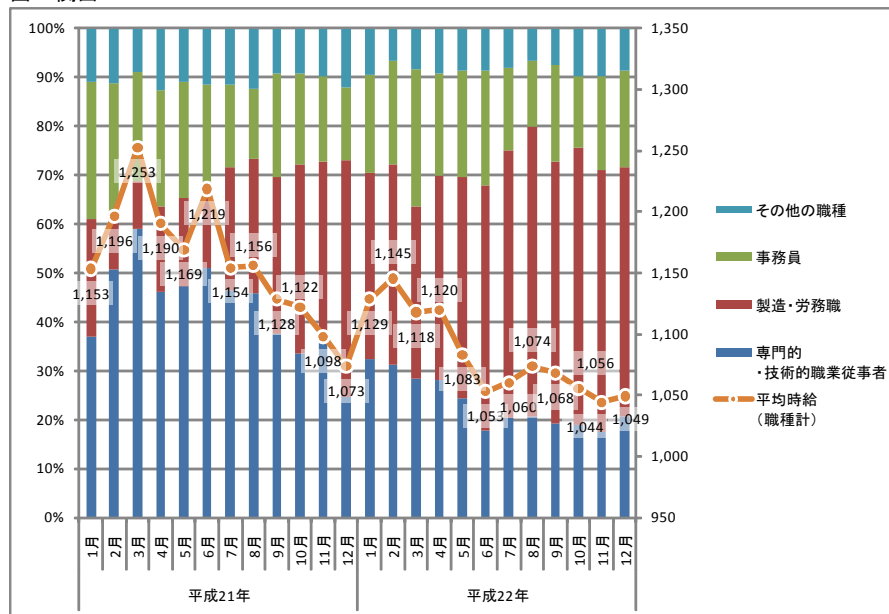


図9 関西



「人材派遣業 職種別募集時平均時給(表 8)」にあるように、人材派遣業で賃金データの構成比が最も高い職種は、関東では専門的・技術的職業従事者従事者の 30.8%、次いで技能工・生産作業者の 28.9%となっている。関西では技能工・生産作業者が 39.0%、次いで専門的・技術的職業従事者従事者が 22.9%となっている。また、この 2 職種の募集時平均時給額は、関東では専門的・技術的職業従事者従事者が 1,391 円、技能工・生産作業

者が 1,062 円と、その差は 329 円となっており、関西では専門的・技術的職業従事者従事者が 1,282 円、技能工・生産作業者が 1,005 円と、その差は 277 円となっている。全職種に占める構成比が高く、平均時給額の差が大きい 2 職種の賃金データ数の増減が、人材派遣業全体の平均時給額に大きく影響している。

一方、業務請負業では、人材派遣業のように職種の構成比の変化が、業務請負業全体の平均時給の増減と連動した動きは見られない(図 10,11)。

業務請負業 職種構成比の推移 と平均時給(職種計)の推移

図10 関東

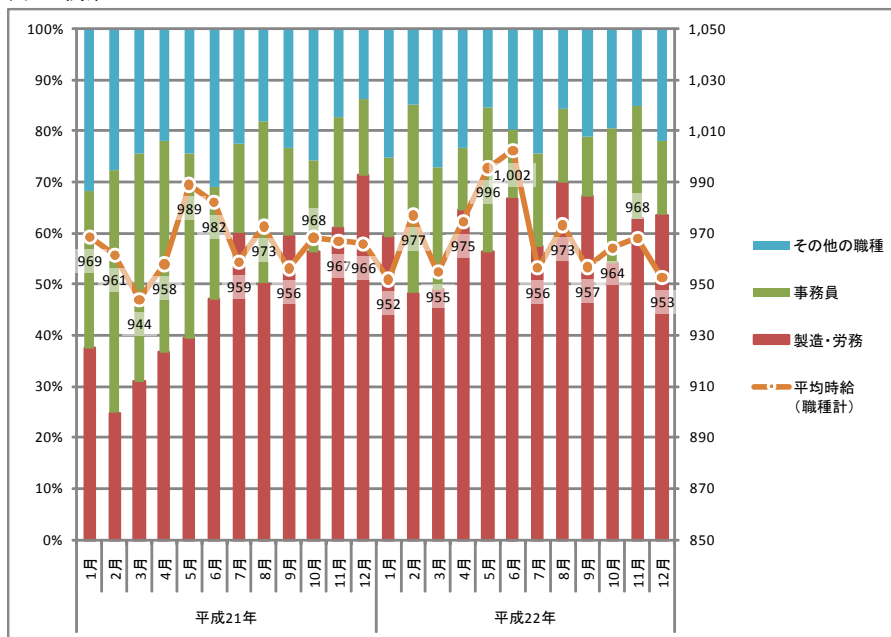
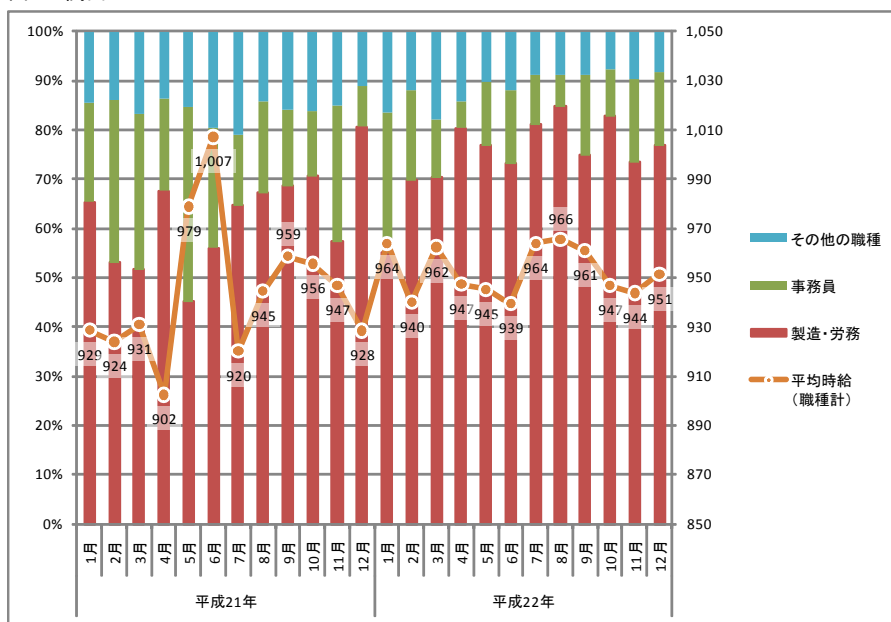


図11 関西



業務請負業では、製造・労務職の構成比が他の職種に比べ、圧倒的に高い。具体的には、関東で 60%（「技能工・生産作業者」31.6% 「労務作業者」28.4%）、関西では 81.1%（「技能工・生産作業者」47.9% 「労務作業者」27.9%）となっている。その結果、業務請負業職種計の平均時給は、製造関連職種の平均時給額の増減に、大きく影響されている（表 12,13）。

表12 関東 業務請負業 職種別 募集時平均時給の推移

	H16年		H17年		H18年		H19年		H20年		H21年		H22年	
	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
職種計	1,031	1,027	1,025	1,023	1,032	1,030	1,037	1,009	1,011	1,004	966	964	976	962
事務員	1,047	1,023	1,023	1,014	1,009	1,045	1,029	1,013	993	993	971	961	982	963
製造・労務	1,018	1,022	1,018	1,015	1,030	1,019	1,022	1,002	1,014	1,004	944	955	968	955

図12

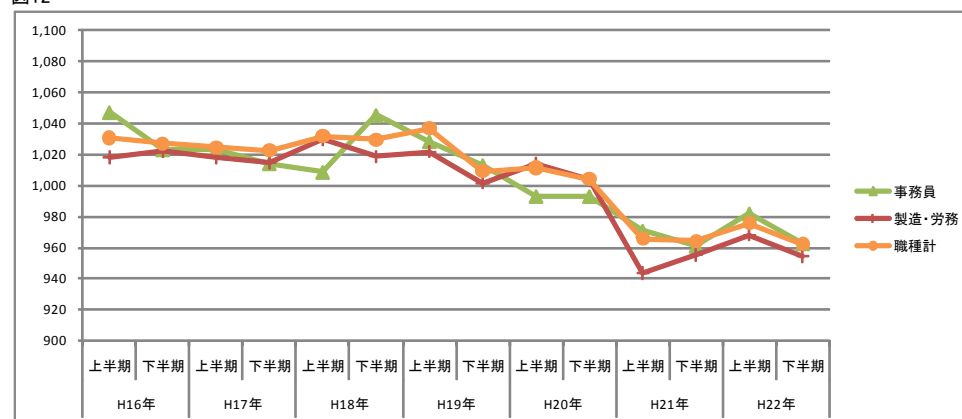
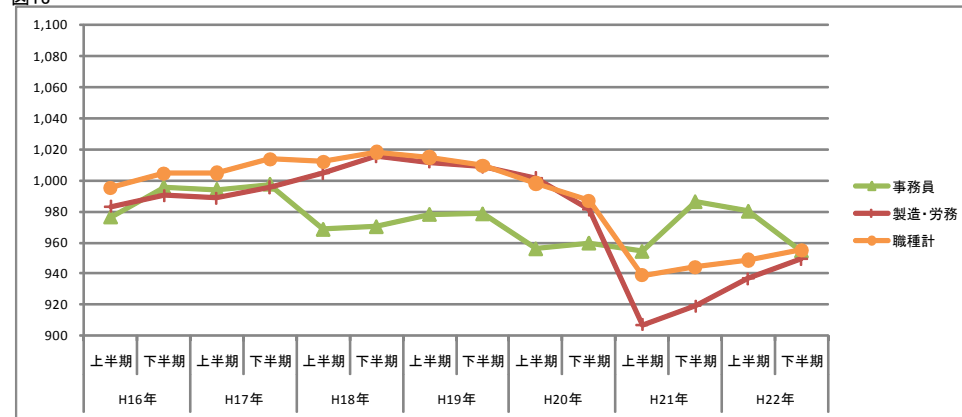


表13 関西 業務請負業 職種別 募集時平均時給の推移

	H16年		H17年		H18年		H19年		H20年		H21年		H22年	
	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
職種計	995	1,005	1,005	1,014	1,012	1,018	1,015	1,009	998	987	939	944	949	955
事務員	977	996	994	998	969	970	978	979	956	960	955	986	980	955
製造・労務	983	990	989	996	1,005	1,016	1,012	1,009	1,002	981	907	919	937	949

図13



調査方法

【集計対象データ】

- 平成 21 年 1 月から平成 22 年 12 月の各月第 1・第 3 日曜日発行の新聞折込求人紙『しごと情報アイデム』紙面データベースから、人材派遣業、業務請負業に関するデータを特別集計した。
- 求人広告枠数は人材派遣、業務請負会社が派遣社員、スタッフの求人（登録会は除く）のために出稿した求人紙面の枠数である。
- 平均時給は、求人紙面に掲載された派遣社員、業務請負業スタッフの募集時の平均時給である。

【データ数】

平成22年1月～平成22年12月

●求人広告枠数

	人材派遣業	業務請負業
関東	9,328	3,175
関西	11,221	3,933
計	20,549	7,108

●賃金データ(時給)数

	人材派遣業	業務請負業
関東	22,119	4,973
関西	25,189	7,150
計	47,308	12,123

平成21年1月～平成21年12月

●求人広告枠数

	人材派遣業	業務請負業
関東	9,099	2,766
関西	9,705	2,851
計	18,804	5,617

●賃金データ(時給)数

	人材派遣業	業務請負業
関東	26,054	4,608
関西	26,228	4,576
計	52,282	9,184